

第4章 再整備に向けた方向性

本章では、「第1章 基本的事項」、「第2章 比治山公園を取り巻く現状」及び「第3章 比治山公園に求められる役割・ニーズ」を踏まえて、比治山公園が持つ資源を始め、にぎわい、園内の回遊、駐車場・交通アクセスといった分野ごとに再整備に向けた方向性を整理します。

1 平和・歴史

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 比治山公園は多くの観光客が訪れる平和記念公園から約 2 kmの距離に位置し、平和大通りを経由する「平和の道」や、主要な施設を巡る「めいぶる一歩」等により回遊することができます。
- ・ 陸軍墓地は、西南戦争から第二次世界大戦までの多数の日本人戦没者の遺骨が葬られているとともに、日清戦争、第一次世界大戦時等に広島で亡くなった中国人、フランス人、ドイツ人の墓もあります。また、似島を始め、瀬戸内海に浮かぶ島々を一望できる場所でもあります。
- ・ 頼山陽文徳殿は、原爆により、窓ガラスは割れ、瓦は吹き飛び、屋根の九輪は楕円に変形したものの火災は免れ、その姿を今にとどめており、変形した九輪は現在でも確認することができます。また、敷地内には、被爆樹木であるソメイヨシノが残っています。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

観光動向

- ・ 外国人観光客の訪日動機としては、平成 27 年版観光白書における調査によると、「日本の歴史・伝統文化体験(第 8 位)」、「美術館・博物館(第 12 位)」が挙がっています。特に、広島市を訪れる外国人観光客の約 6 割を占める欧米等の外国人観光客の多くは、「日本の歴史・伝統文化体験」を訪日動機として挙げています。

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、「核兵器は絶対にダメ、戦争はしてはいけないということを市民レベルでしっかり感じ、訴える場所にしてみたい」という意見や、広島を訪れた世界の為政者や著名人の「平和へのメッセージ」を碑にして設置することに賛成する意見、陸軍墓地をもっと広く周知すべきという意見が寄せられています。
- ・ 活用のアイデアとして、頼山陽文徳殿を活用した被爆樹木や歴史に関する資料の展示、陸軍墓地やそのほかの視点場を活用した平和について考えるフィールドワークの実施等が挙がっています。
- ・ そのほか、歴史を感じられる戦前や戦後直後の写真等を展示してはどうかといった意見が寄せられています。

再整備に向けた方向性

- ① 平和記念公園から約 2 kmの距離に位置する立地特性や、陸軍墓地及び被爆建物である頼山陽文徳殿等によって、被爆の実相に触れることができる場所にするとともに、平和への思いを共有しつつ、戦争や平和について考えることができる場所にするのが求められます。
- ② 被爆建物や被爆樹木巡りなど、比治山公園の資源をいかした市民活動が広がっていくことが期待されます。

2 文化資源

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 現代美術館は、子どもから大人まで楽しめる参加型のワークショップや美術館のパブリックスペースを利用した展示など、バラエティ豊かなプログラムを提供しており、展覧会の観覧者数が伸び悩む中、これらの参加者数は増加傾向にあります。一方で、開館から27年が経過し建物や設備が老朽化して更新が必要な状況であり、また、バリアフリー化や案内表示の多言語化に対応できていない状況にあります。
- ・ まんが図書館は、漫画の閲覧・貸出、資料の展示や講座の開催などを行う一方で、蔵書の増加により書庫が不足し、1階ロビーを書庫スペースとしているため、ロビーを活用した展示や行事の開催に制約があります。また、緑陰読書を推進していますが、図書館前の広場の石段に屋根がないことや隣接する御便殿広場に木陰が少ないことなど、快適に読書ができる環境が整っていないため、利用は少ない状況にあります。
- ・ 現在の利用状況として、平成28年5月に実施した比治山公園の利用者に対するアンケート調査の結果によると、休日は、「まんが図書館」を目的とした利用者の割合が最も高く(22%)なっています。また、海外居住者に限ると、「現代美術館」の利用割合が最も高くなっています。

基本的事項(第1章)

- ・ 「広島市緑の基本計画」において、比治山公園は文化活動の拠点となる場所として、施設や機能を充実・強化することが示されています。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

観光動向

(国内観光客)

- ・ 平成27年度に実施した広島市来訪観光客アンケートにおける「今後、広島に期待すること」によると、「見るだけでなく体験できる施設がほしい(第2位)」、「親子で楽しめる施設がほしい(第6位)」といった意見が上位を占めるほか、「美術館・博物館等の文化施設を充実してほしい(第8位)」といった意見が寄せられています。

(外国人観光客)

- ・ 平成27年版観光白書における外国人観光客の訪日動機調査によると、「日本の現代文化体験(第11位)」、「美術館・博物館(第12位)」が挙がっています。

余暇活動の動向

- ・ レジャー白書2016における余暇活動の参加人口調査によると、「読書(仕事、勉強などを除く娯楽としての読書)(第4位)」が上位に挙がっているほか、「美術鑑賞(テレビは除く)(第37位)」も挙がっています。

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、現代美術館に対し、芸術に興味のある人の交流の場、広島市の芸術の発信地となる施設にしてほしいといった意見や、美術館と公園が一体となって現代美術を楽しむ環境整備や屋外展示を増やしてはどうかといった意見が寄せられています。
- ・ まんが図書館に対し、閲覧スペースや書架の拡大、御便殿広場を魅力的な読書スペースにするといった意見が挙がっています。そのほか、まんが原画展や音楽会などのイベントを実施してはどうかといったアイデアが挙がっています。

再整備に向けた方向性

- ① 国内外の観光客のニーズや国内の余暇活動に関する調査結果から、比治山公園が有する文化資源である現代美術館とまんが図書館は、より多くの人々を誘客できるポテンシャルを有していると言えます。これらの施設の機能を拡充し、より魅力を向上させることが求められます。
- ② 魅力の向上に当たり、現代美術館については、比治山公園と一体となった空間演出などにより気軽に現代美術に触れられる環境整備や、参加体験型のプログラムの充実とそのため環境整備が求められます。
- ③ 魅力の向上に当たり、まんが図書館については、書庫スペースを確保するほか、隣接する御便殿広場を活用した読書空間の魅力向上や、参加体験型のプログラムの充実とそのため環境整備が求められます。

3 自然環境

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 樹木が生い茂り、薄暗い園路が多くなっています。
- ・ 比治山公園の樹林の中には、美しい花の咲く植物や食べられる実のなる植物など、見て触れて楽しめる植物もあり、樹林内の散策や遊びを通じた子どもの自然体験といった活用も期待できます。一方、樹林内が薄暗くなりがちであり、防犯面の課題があります。
- ・ また、比治山公園は、古くから桜の名所として知られていますが、近年では樹勢が弱っている桜も多く見られません。
- ・ 比治山公園の外周は、平成 14 年に広島県が図上で行った調査によると、広範囲に急傾斜地崩壊危険箇所とされており、南側では、いくつかの箇所で土石流危険渓流とされています。これらの箇所を対象として、今後、広島県による現地調査が行われ、調査の結果によっては、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域及び特別警戒区域が定められます。
- ・ 現在の利用状況として、平成 28 年 5 月に実施した比治山公園の利用者に対するアンケート調査の結果によると、「散策」、「自然を楽しむ」、「休息」が上位に挙がっており、癒しを目的とした利用の傾向も見られます。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

観光動向

(国内観光客)

- ・ 平成 27 年度に実施した広島市来訪観光客アンケートにおける「今後、広島に期待すること」によると、「見るだけでなく体験できる施設がほしい(第 2 位)」、「親子で楽しめる施設がほしい(第 6 位)」といった意見が寄せられています。

余暇活動の動向

- ・ レジャー白書 2016 における余暇活動の参加人口調査によると、「バーベキュー(第 22 位)」、「ピクニック、ハイキング、野外散歩(第 28 位)」といったアウトドアに関する項目が挙がっています。また、同白書における余暇活動の潜在需要に関する調査によると、男性は「バーベキュー(第 4 位)」や「オートキャンプ(第 6 位)」、「ピクニック、ハイキング、野外散歩(第 7 位)」を上位に挙げており、女性も第 8 位に「ピクニック、ハイキング、野外散歩」を挙げています。

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、桜が弱っていることから保護・整備してほしいという意見が寄せられています。
- ・ 自然と触れ合う貴重な場所をそのまま残してほしいといった緑地の保全に関する意見や、樹木が生い茂り、薄暗くて一人では歩けないところがあるという意見が寄せられています。
- ・ 活用のアイデアとして、自然を活用した子どもの身体づくりや遊び、植物や野鳥の観察・ガイドが挙がっています。

再整備に向けた方向性

- ① 都心の貴重な自然環境をいかし、子どもが遊びを通じて自然の中で創造的な体験ができるとともに、誰もが心の安らぎや癒しを感じられる場として活用することが期待されます。
- ② 今後とも桜の名所として、多くの人に親しまれるよう桜の植樹や樹勢回復が求められます。
- ③ 防犯対策も含め気持ち良く散策できるよう、地面まで光が差し込む明るい樹林環境へ転換することが求められます。
- ④ 比治山公園の外周は、広範囲に急傾斜地崩壊危険箇所等とされていることから、樹木の間伐等を行う場合は、法面保護の観点も視野に入れて実施する必要があります。

4 景観・眺望

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 比治山公園は、その標高をいかして、戦災復興のシンボルである平和大通りを始め、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並みや、似島を始め瀬戸内海に浮かぶ島々を眺望できる多くの視点場を有しています。一方で、樹木が生い茂り、眺望が確保できていない視点場も多くなっています。
- ・ 比治山公園は、平和大通りから東を見たときに多くの人々の視線が注がれる対象(アイ・ストップ)として、また、「水の都ひろしま」の象徴的な景観を構成する要素として、大きな役割を担っています。

基本的事項(第1章)

- ・ 「広島市緑の基本計画」における「緑の構想図」において、平和記念公園・平和大通り、河岸緑地など広島を代表する緑が集まっている地区について、これらの充実と民有地の緑化推進などにより、広島の平和を象徴する緑の都心空間を形成することとされています。
- ・ また、「広島市景観計画」において、比治山は、平和大通りから東を見たときに多くの人々の視線が注がれる対象(アイ・ストップ)であるとともに、比治山からは市街地を広く眺望できることから、その視点場としての特性を踏まえながら、市民や観光客に親しまれる景観づくりを進める地区と位置付けられています。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、「伐採や手入れがされておらず、展望できない。市街地を展望できるよう樹木を剪定してほしい」といった意見が多数寄せられています。また、展望施設の整備に関する意見も多く寄せられています。
- ・ 市民意識調査においても、重点的に取り組むべき事項として「市内や瀬戸内海を望む展望台の環境整備」が1番目に挙がっています。
- ・ そのほか、活用のアイデアとして、AR(拡張現実)技術の活用による歴史再現が挙がっています。

再整備に向けた方向性

- ① 一望する街並みから平和を実感できる新たな拠点とするため、展望施設の整備とともに、眺望が確保できていない視点場における樹木の間伐・剪定が求められます。
- ② 戦前・戦後の古い写真が存在する場所については、復興した街並みと比較できる工夫も期待されます。
- ③ 本市の景観上重要な東西軸である平和大通りからのアイ・ストップとして、「水の都ひろしま」の象徴的な景観を構成する要素として、市民や観光客に親しまれる魅力的な景観を形成することが期待されます。

5 にぎわい

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 比治山公園は、都心に残る自然の山を活用した公園であるため、平坦な場所は尾根に集中しています。それらの多くは現代美術館や放射線影響研究所等の施設や駐車場として使用されているため、公園の魅力創出に新たに利用できる平坦な場所は少ない状況となっています。
- ・ 広い園内において、現代美術館内以外の売店・軽飲食店は、ほとんど営業しておらず、自動販売機による飲み物の販売にとどまっている状況にあります。
- ・ 比治山公園で実施されているイベントや活動としては、平成 28 年 3 月に段原地区町づくり協議会が開催した「第 1 回比治山桜咲けまつり」や、平成 28 年 10 月に広島段原ショッピングセンターが比治山公園ワークショップの参加者等と連携して開催した「はじめまして、比治山祭」を始め、自然環境をいかした野鳥観察会・自然観察会といった活動、歴史や文化を紹介する観光ガイドツアーなどが開催されていますが、開催回数が少なく、年間を通じて何らかのイベントや活動に参加できるとは言えない状況にあります。

基本的事項(第1章)

- ・ 広島市都市計画マスタープランにおいて、市の中心部に近く、豊かな緑と優れた眺望に恵まれた比治山公園について、既存の文化・芸術施設と連携を図りながら、より多くの人が訪れる場となるよう取り組むことが示されています。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、子どもを遊ばせつつ休憩できるようなカフェや、わざわざ訪れたいくなるような有名レストラン、眺めの良いレストランなど、飲食施設の整備(誘致)を求める意見が多数寄せられています。また、その方法についても、既存の施設や跡地を利用し、魅力的な場所に再整備するといった意見が寄せられています。
- ・ 学生や若手アーティストが作品を展示・販売するといったアートをテーマにしたイベント、オープンカフェやマルシェなどの飲食を中心としたイベント、野外コンサートなどの開催を求める意見が寄せられています。
- ・ 市民意識調査においても、重点的に取り組むべき事項として「公園内広場等を活用したイベントの実施」が 2 番目に挙がっています。
- ・ また、活用のアイデアとして、野外ステージ演奏会(学校の部活動・若者・一般のコンサート)、フリーマーケット、産直マーケットの開催が挙がっています。
- ・ そのほか、子どもの遊び場として遊具の充実を求める意見が多数寄せられており、通常の遊具に加え、芸術性の高い遊具、アスレチック、ボルダリング等が挙がっています。

再整備に向けた方向性

- ① 園内の複数箇所において飲食や休憩できる場所を確保することが求められます。
- ② 本市が早期移転に向けて働きかけている放射線影響研究所の職員宿舎である比治山ホールは、日本を代表する建築家の一人である前川國男氏により設計された建物です。研究所が移転する際には、建物や眺望をいかして、ニーズの高い飲食施設として活用することも考えられます。
- ③ 放射線影響研究所敷地については、本計画の対象区域内で最も大きな面積を確保できる広場であることから、様々なイベント等を開催できる多目的エリアとして活用することが考えられます。
- ④ 公園の魅力創出に新たに利用できる平坦な場所が少ないため、比治山スカイウォークで接続する広島段原ショッピングセンターの駐車場の利用促進を図りつつ、駐車場の一部を公園の魅力創出のために利用転換することも考えられます。
- ⑤ 園内各所で、フリーマーケットやマルシェ、子どもの演奏会、落ち葉や小枝を使ったものづくり教室など、比治山公園の資源をいかした様々なイベントや活動が広がっていくことが期待されます。
- ⑥ 遊戯施設についても、現在の遊具広場を中心に充実させることが求められます。

6 園内の回遊

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 比治山公園には、自動車が通行可能な三つの園路のほか、歩行者専用の複数の園路があります。自動車が通行可能な園路には、歩道が整備されていない区間があり、散策やジョギングなどを行う公園利用者の安全確保に課題があります。また、高低差のある地形であるため、勾配の急な園路があります。
- ・ 第二・第三駐車場から現代美術館やまんが図書館までの間には、高低差や階段があり、誰もが移動しやすい環境が整っているとは言えない状況にあります。
- ・ 現在の利用状況として、平成 28 年 5 月に実施した比治山公園の利用者に対するアンケートの結果によると、国内居住者の利用目的としては、「ウォーキングやジョギング」が平日の第 1 位(29%)、休日の第 2 位(20%)に挙がっています。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

余暇活動の動向

- ・ レジャー白書 2016における余暇活動の参加人口調査によると、「ウォーキング(第 9 位)」、「ジョギング、マラソン(第 19 位)」といった健康づくりに関する種目が挙がっています。

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、園路を車椅子もベビーカーも通りやすいように整備してほしいといった意見や街灯を整備してほしいといった意見、車を制限するなど園路の安全対策を求める意見、公園内の高低差を軽減してほしいといった意見が寄せられています。
- ・ そのほか、外国人に道をよく聞かれる、看板が分かりにくいと思うといった意見や、ランニングコースの整備や付属施設の充実を期待する意見が寄せられています。
- ・ 市民意識調査においても、重点的に取り組むべき事項として「散歩やジョギングルートの整備」が 6 番目に挙がっています。
- ・ また、活用のアイデアとして、園内各地に立地する記念碑や銅像を巡るツアーや、スタンプラリー、オリエンテーリングといったイベントの開催が挙がっています。

再整備に向けた方向性

- ① 園内を安全に移動・回遊できるよう、自動車と歩行者を極力分離するとともに、高低差を軽減できるような工夫が求められます。
- ② 園内には、記念碑や彫刻など多様な施設があり、こうした施設との予期しない偶然の出会いも比治山公園を散策する魅力の一つであることから、園内の回遊を促すような仕掛けや施設配置が求められます。
- ③ 高低差を利用して、ウォーキングやランニングといった健康づくりを楽しめる環境整備が求められます。
- ④ 園内を快適に移動し、回遊できるよう、分かりやすい案内板の設置が求められています。

7 駐車場・交通アクセス

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 比治山公園には、計 115 台駐車できる三つの駐車場があり、平日・休日ともに比較的空きのある状況です。
- ・ 比治山公園内と公園に隣接する広島段原ショッピングセンターとは比治山スカイウォークで接続しており、現代美術館やまんが図書館の利用者は、一定時間、無料で同ショッピングセンターの駐車場を利用することができる一方、比治山スカイウォークの利用者は減少傾向にあり、同ショッピングセンターの駐車場から比治山スカイウォークを利用して現代美術館等を訪れる人も少ない状況にあります。
- ・ 比治山公園へは、広島駅からは路面電車や路線バスにより、紙屋町・八丁堀地区からは路線バスによりアクセスできます。また、都心を循環する広島観光ループバス「めいぷるーぷ」によりアクセスすることができます。さらに、比治山公園には、観光レンタサイクル「びーすくる」の貸出・返却施設が整備されています。
- ・ 平成 28 年 5 月に実施した利用者に対するアンケート調査によると、平日は、「徒歩」による来園が約半数を占める一方、休日は、「徒歩」「自家用車」による来園がそれぞれ約 4 割を占めています。また、平日・休日ともに、「バス」「路面電車」による来園は少ない状況にあります。
- ・ 比治山公園は、都心に残る自然の山を活用した公園であるため、平坦な場所は尾根に集中しています。これらの多くは現代美術館や放射線影響研究所等の施設や駐車場として使用されているため、公園の魅力創出に新たに利用できる平坦な場所は少ない状況となっています。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

観光動向

(国内観光客)

- ・ 平成 27 年度に実施した広島市来訪観光客アンケートにおける「今後、広島に期待すること」によると、「レンタサイクルを利用したい(第 4 位)」、「観光施設間の交通の便をよくしてほしい(第 9 位)」、「観光案内の標識を充実してほしい(第 10 位)」といった意見が寄せられています。

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、公園内の高低差を軽減してほしい、駐車場の階段にエスカレーターがほしいといった意見、比治山スカイウォークは広島段原ショッピングセンターからのアクセスも良く、存続してほしいといった意見のほか、路面電車の環状ルート化など交通利便性を高めてほしいといった意見が寄せられています。
- ・ 市民意識調査における主な自由意見として、交通案内の充実や交通アクセスの利便性向上を求める意見が挙がっています。

再整備に向けた方向性

- ① 比治山公園全体として駐車場に空きがある一方で、公園の魅力創出に新たに利用できる平坦な場所が少ないため、比治山スカイウォークで接続する広島段原ショッピングセンターの駐車場の利用促進を図りつつ、駐車場の一部を公園の魅力創出のために利用転換することも考えられます。
- ② バスや路面電車等により交通利便性が一定程度確保されている一方で、これらの利用者が少ないことから利用促進などに努める必要があります。

第5章 基本計画

1 基本計画の策定に当たって

比治山公園は、明治 36 年に本市で最初の公園として開設され、桜の名所として親しまれるとともに、明治 42 年には広島大本営の明治天皇の休憩所(御便殿)が移築(原爆により倒壊)されたほか、様々な記念碑等が建立された歴史的な場所です。

また、世界中から多くの人々が訪れる平和記念公園から約 2 km の距離に位置し、高次の都市機能が集積する都心にありながらも緑豊かな自然に触れられる希少な場所となっており、さらには、その標高をいかして、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並み等を一望できます。

戦後、昭和 27 年には都市計画法上の公園に位置付け、昭和 55 年には本市の政令指定都市移行を記念して「比治山芸術公園基本計画」を策定しました。現代美術館や青空図書館(現在のまんが図書館)といった文化施設や展望台広場などの整備は、この計画に基づいて進めてきました。

しかしながら、現在、この計画に基づく整備は進展していない状況にあり、自然や文化と触れ合うことができる身近な憩いの場、また、平和記念公園などを訪れた観光客が回遊できる観光スポットといった、比治山公園の持つポテンシャルが十分にいかされているとは言い難い状況にあります。比治山公園の歴史的価値や立地特性を踏まえるならば、公園を現状のままにしておくのではなく、そのポテンシャルをいかして「国際平和文化都市として復興した広島『今』を実感できる新たな拠点」として再整備する必要があります。

このため、被爆 70 周年の平成 27 年 7 月に、「比治山公園『平和の丘』構想」を新たに策定しました。本章の基本計画は、この構想に基づき、「比治山芸術公園基本計画」に替わるものとして取りまとめたものです。

この基本計画の実現に当たっては、計画の対象区域が約 29ha と広大なことから相当な時間を要することが見込まれるため、三つの期間に分けた上で整備を進めていきます。

まず、第Ⅰ期においては、主に行政が主体となって、歴史的・文化的な価値のある既存の施設の魅力に磨きをかける整備に取り組みます。次に、第Ⅱ期においては、民間事業者や市民等の知識や経験、資金を活用しながら、公園の新たな魅力を創出するための整備を進めます。そして、第Ⅲ期においては、放射線影響研究所の移転後の敷地を活用した新たな施設の整備に取り組みます。

このように、基本計画に基づく整備を着実に進め、多くの市民や観光客が訪れ、愛される比治山公園「平和の丘」を実現していきます。

2 構想に掲げたコンセプトごとの整備内容と各施設の概ねの完成時期

コンセプトごとの整備内容

コンセプト1 「都市に込められた平和への思い」を共有する場

比治山公園は、世界中から多くの人々が訪れる平和記念公園から約2kmの距離に位置し、園内とその隣接地には、陸軍墓地や戦没者の慰霊碑があります。また、被爆建物の頼山陽文徳殿や多聞院の鐘楼、被爆樹木のソメイヨシノやクスノキなどがあり、被爆の実相に触れられる場所です。

こうした特性をいかし、被爆の実相を伝える平和記念公園とともに、平和への思いを共有できる場所にします。

【整備内容】

- ・陸軍墓地
- ・展望施設等
- ・頼山陽文徳殿
- ・「平和へのメッセージ」を記す碑

コンセプト2 「都市の美しさ・復興の力強さ」を実感する場

比治山公園は、「デルタ市街地」を流れる6本の川と水辺空間が織り成す「水の都ひろしま」の象徴的な景観を構成する要素として大きな役割を担うとともに、戦災復興のシンボルである平和大通りの東端に位置し、その標高をいかして、デルタの美しい街並みと緑あふれる平和大通りを望める場所です。

こうした特性をいかし、市民はもとより広島を訪れた観光客が、都市の美しさとともに、原子爆弾の惨禍から復興した都市の力強さを実感できる場所にします。

【整備内容】

- ・展望施設等

コンセプト3 「都市に息づく文化・自然の豊かさ」を体験する場

比治山公園は、本市の都心、「デルタ市街地」にありながら、緑豊かな自然環境に恵まれるとともに、現代美術館やまんが図書館といった文化施設のある場所です。

こうした特性をいかし、現代美術などの文化に親しむ楽しさや感動を味わえ、心地良い丘の中でゆっくりと穏やかな時間を過ごせ、子どもが遊びを通じて自然を体験できるなど、平和であるからこそ享受できる都市に息づく文化や自然の豊かさを体験できる場所にします。

【整備内容】

- ・まんが図書館・御便殿広場
- ・プレイパーク
- ・現代美術館
- ・レクリエーションエリア
- ・遊戯施設
- ・多目的エリア
- ・ランニングコース
- ・飲食施設(レストラン)
- ・ウェルネス施設

公園の機能をより発揮させるための環境整備

【整備内容】

- ・園内動線・交通アクセス
- ・照明
- ・樹林管理及び植栽
- ・飲食サービス・にぎわい
- ・案内サイン
- ・総合インフォメーションセンター

各施設の概ねの完成時期

第Ⅰ期 [平成29年度・平成30年度]
既存の施設の魅力に磨きをかける整備

(1) 陸軍墓地 …コンセプト ①
(2) 頼山陽文徳殿 …①
(3) まんが図書館・御便殿広場 …③

[公園の機能をより発揮させるための環境整備]

- ・眺望の確保、樹林管理及び植栽
- ・飲食サービス・にぎわい

第Ⅱ期 [平成31年度～平成33年度]
公園の新たな魅力を創出するための整備

(1) 展望施設等 …コンセプト ①②
(2) 「平和へのメッセージ」を記す碑 ①
(3) 現代美術館 …③
(4) 遊戯施設 …③
(5) ランニングコース …③
(6) ウェルネス施設 …③
(7) プレイパーク …③
(8) レクリエーションエリア …③

[公園の機能をより発揮させるための環境整備]

- ・園内動線・交通アクセス
- ・樹林管理及び植栽
- ・案内サイン
- ・照明
- ・飲食サービス・にぎわい
- ・総合インフォメーションセンター

第Ⅲ期 [放射線影響研究所移転後]
放射線影響研究所の敷地を活用した新たな施設の整備

(1) 多目的エリア …コンセプト ③
(2) 飲食施設(レストラン) …③
(3) 「平和へのメッセージ」を記す碑 ①
(4) 遊戯施設 …③
(5) ランニングコース …③

[公園の機能をより発揮させるための環境整備]

- ・園内動線・交通アクセス
- ・樹林管理及び植栽
- ・案内サイン
- ・照明

3 施設配置

前節に整理した主な整備施設等の配置は、以下のとおりです。

施設配置図



4 第Ⅰ期整備について

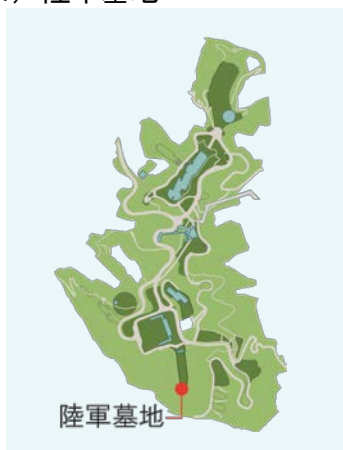
第Ⅰ期は、主に行政が主体となって、歴史的・文化的な価値のある既存の施設の魅力に磨きをかける整備に取り組みます。

具体的には、まず、陸軍墓地や被爆建物である頼山陽文徳殿の整備を行い、市民や観光客が、被爆の実相に触れ、戦争や平和について考えることができるよう「都市に込められた平和への思い」を共有できる場の整備を行います。

また、まんが図書館のイベント空間や御便殿広場の読書空間の整備を行い、心地良い丘の中でゆっくりと穏やかな時間が過ごせるよう「都市に息づく文化・自然の豊かさ」を体験できる場の整備を行います。

さらに、ムーアの広場や富士見台展望台、陸軍墓地からの眺望を確保し、園路沿いを中心に明るい樹林環境へ転換させるための樹木の間伐等を行い、公園の機能をより発揮させるための環境の整備を行います。

(1) 陸軍墓地



【整備内容】

日本人戦没者の遺骨が葬られているとともに、広島で亡くなった外国人の墓もある陸軍墓地を、国籍や人種、宗教などの様々な違いを超えて、人類愛のもとに協力し合う「博愛」のシンボルとし、市民や観光客が世界平和を願い、草花を植えることのできる花と緑の豊かな空間とします。そのため、花壇を整備するとともに、墓地の入り口にある老朽化した建屋に替えて、花と緑の空間イメージに適したエントランスを整備します。

〔再整備に向けた方向性の整理「第4章 1 平和・歴史 ①」(45頁)〕



陸軍墓地の整備イメージ

(2) 頼山陽文徳殿



【整備内容】

被爆建物の見学会や被爆樹木の説明会など、被爆の実相を伝える場として活用します。また、演奏会などの市民活動の場としても活用することで、より多くの市民に被爆の実相に触れる機会を提供します。そのため、まずは、屋根や窓枠の改修、空調設備や便所の整備、案内板の設置、被爆樹木も含めた庭園の植栽管理等により利用環境を整えます。

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 1 平和・歴史 ①②」(45頁)〕

(3) まんが図書館・御便殿広場



【整備内容】

■ イベント空間の整備と活用

まんが図書館前の広場に石段を囲う屋根を整備するとともに、1階に保管している約2万冊の漫画を収納できる書庫を館の北側に増設し、広場と1階にイベント空間を確保した上で、企画展やまんが教室、広島にゆかりのある漫画家や人気漫画家との共同イベントなどを開催します。

■ 屋外の読書空間の整備

緑豊かな自然に触れながら緑陰読書を楽しめるよう、御便殿広場にベンチや芝生エリアなどを整備します。

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 2 文化資源 ①③」(46頁)
「第4章 5 にぎわい ⑤」(49頁)〕



まんが図書館・御便殿広場の整備イメージ

5 第Ⅱ期整備について

第Ⅱ期は、民間事業者や市民等の知識や経験、資金を活用しながら、公園の新たな魅力を創出するための整備を進めます。

具体的には、デルタ市街地の街並みと平和大通りを間近に見ることができる展望施設を整備し「都市の美しさ・復興の力強さ」を実感できる場を整備するとともに、展望施設には「平和へのメッセージ」を記す碑を設置し「都市に込められた平和への思い」を共有できる場を整備します。

また、レクリエーションエリアやウェルネス施設といった収益が見込める施設は、民間事業者を主体とした整備や管理・運営(民設民営)を視野に入れて取り組みます。プレイパークについては、市民活動団体に管理・運営を委ね、その知識や経験を活用することを検討します。

こうした施設の整備等に加え、現代美術館の機能強化やランニングコースの整備を行い、より一層「都市に息づく文化・自然の豊かさ」を体験できるようにします。

(1) 展望施設等



【整備内容】

■ 展望施設等の整備【第二駐車場の廃止に関する詳細は 67 頁】

南北に広がる比治山公園の中心に位置する現在の第二駐車場周辺は、平和大通りの東端の延長線上に位置しており、その姿を一望することができます。こうした特長をいかし、このエリアを比治山公園「平和の丘」の中心と位置付けた上で、日米友好の証である桜とハナミズキ等を植樹し、四季折々の草花で利用者を出迎える展望庭園を整備するとともに、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の美しい街並みと緑あふれる平和大通りを間近に見ることのできる展望施設を整備します。

なお、これらの整備に伴い、現在の第二駐車場は廃止します。

■ エレベーターの整備【詳細は 67 頁】

比治山公園「平和の丘」の中心に位置付けるエリアとして、主要な三つの園路が交わる交差点(標高 28.1m[※])、第三駐車場(標高 32.1m[※])、比治山スカイウォーク乗降口(標高 39.3m[※])及び現在の第二駐車場(標高 46.8m[※])の四つの高さの異なる園地をつなぎ、園内動線の高低差の軽減を図るためエレベーターを整備します。

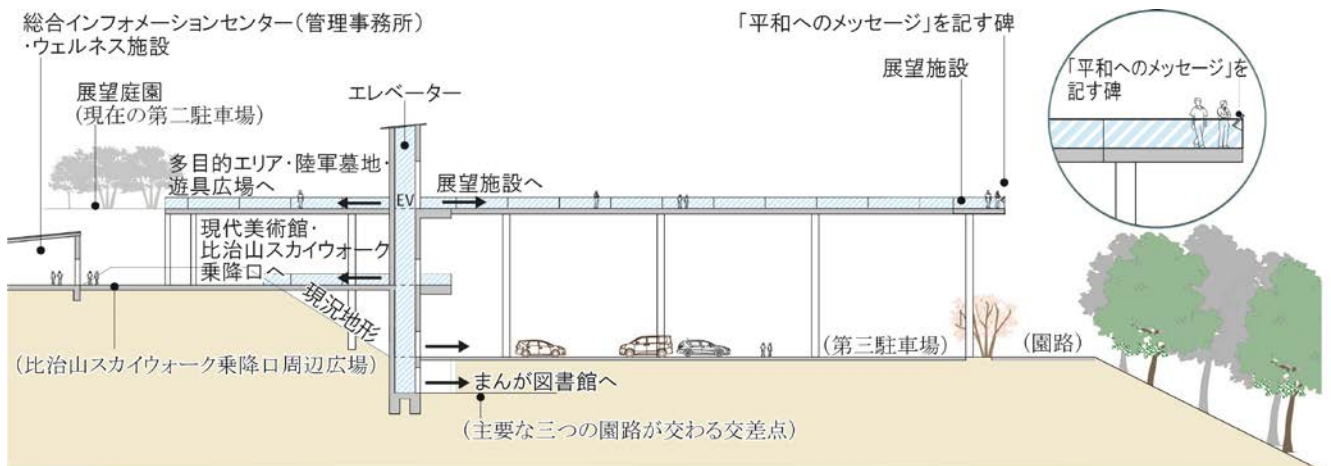
※「第2章 3 地形 (1) 平坦地及び標高の整理」(22 頁)

■ 総合インフォメーション機能の付与【詳細は 78 頁】

警備員等が常駐し公園利用者への対応等を行う管理事務所を移設し、園内の総合インフォメーション機能を持たせます。

再整備に向けた方向性の整理 「第4章 1 平和・歴史 ①」(45 頁)
「第4章 4 景観・眺望 ①」(48 頁)
「第4章 5 にぎわい ④」(49 頁)
「第4章 6 園内の回遊 ①」(50 頁)
「第4章 7 駐車場・交通アクセス ①」(51 頁)

展望施設等の断面イメージ



展望施設等の整備イメージ



エレベーター等の整備イメージ

(2) 「平和へのメッセージ」を記す碑



【整備内容】

比治山公園の主要な展望箇所に、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並みを眺めながら、平和への思いを共有しつつ、戦争や平和について考えることができるよう、広島を訪れた世界の為政者や著名人が残した「平和へのメッセージ」を読むことができる碑を設置します。

設置場所は、新たに整備する展望施設を始め、良好な眺望を得られる場所として、ムーアの広場、比治山ホール、富士見台展望台、陸軍墓地を候補とします。

また、より深くメッセージに込められた思いを伝えられるよう、戦前・戦後の古い写真が存在する場所については、スマートフォンなどを活用し、AR(拡張現実)技術などにより、戦前の街並みや被爆直後の廃墟と現在のデルタ市街地との対比ができる環境を整備します。

さらに、平和記念公園、比治山公園の「平和へのメッセージ」を記す碑や陸軍墓地、被爆建物である頼山陽文徳殿や広島陸軍被服支廠、郷土資料館(旧陸軍糧秣支廠)、さらには似島などを巡り、被爆の実相に触れるとともに、平和への思いを共有しつつ、戦争や平和について考えることができるルートを設定します。

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 1 平和・歴史 ①」(45頁)
「第4章 4 景観・眺望 ②」(48頁)〕

(3) 現代美術館



【整備内容】

■ 現代美術による平和発信機能の強化

比治山公園における中核的な文化施設として、ヒロシマ賞受賞作家を中心とした展示を充実させ、優れた美術作品を通して、核兵器廃絶と世界恒久平和を願う「ヒロシマの心」を効果的に発信していきます。

■ 参加体験機能の強化

市民が親しみやすく気軽に訪れることができるよう、参加体験型のワークショップ等の充実やそのためのイベント空間の確保、美術に関する情報発信コーナーを充実します。

■ 公園と一体となった空間演出

美術館にとどまらず、美術館周辺の地形や自然環境を活用したインスタレーションやプロジェクションマッピングを実施するとともに、駐車場から美術館までの園路沿いや美術館周辺に彫刻等の芸術作品を設置します。

■ 魅力向上の推進

ユニークベニューやアフターコンベンションの場として活用するとともに、美術館のライトアップによる夜間の魅力を向上させます。また、便所などのバリアフリー化を図り、利用環境を整えます。

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 2 文化資源 ①②」(46頁)〕

(4) 遊戯施設



【整備内容】

主要な施設の近くなど園内各所にそれぞれテーマを持った遊戯施設を分散配置し、公園全体を回遊して楽しめるようにします。テーマは、例えばアート、スポーツ、自然、動物など周辺施設や環境になじむものが考えられます。



(例)モエレ沼公園(札幌市)のイサム・ノグチがデザインした遊戯施設



(例)南池袋公園(東京都)のウッドチップを敷き詰めた遊び場

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 5 にぎわい ⑥」(49頁)
「第4章 6 園内の回遊 ②」(50頁) 〕

(5) ランニングコース

(6) ウェルネス施設



【整備内容】

(5) ランニングコース

安全で快適にウォーキングやランニングを楽しめるよう、弾力性のある着色舗装によりコースを明示するとともに、コースや距離を表示した案内板を整備し、周回型のランニングコースを設定します。



(例)大濠公園(福岡市)の弾性舗装を用いたランニングコース

(6) ウェルネス※施設

■ ウェルネス施設

ウォーキングやランニングを始め、公園内で健康づくりを楽しむ人々が利用できるシャワー設備や更衣室、ロッカーなどを備え、利用者の憩いの場となるカフェを併設した施設を整備します。

■ 広場の整備

新たに整備する展望庭園に隣接する比治山スカイウォーク乗降口周辺に、ウォーミングアップやクールダウンできる広場を整備します。

※ ウェルネス：積極的に心身の健康維持・増進を図ろうとすること

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 6 園内の回遊 ③」(50頁) 〕

(7) プレイパーク



【整備内容】

自然との触れ合いの中で、遊具作りや水遊び、泥遊び、木登りなど、子どもの自由な発想で楽しむことのできるプレイパークを整備します。プレイパークには、遊び道具を収納する倉庫やエリア内のルールを示すサイン、水場などの最低限必要となる施設を整備するとともに、安心して遊ぶことができるよう、見守り小屋などを整備します。

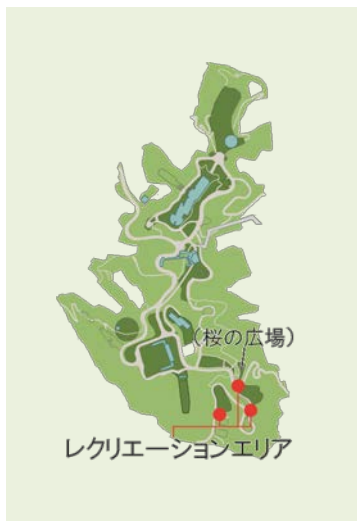
整備場所は、比較的平坦で見通しの良い場所として、富士見台展望台下の樹林を候補とします。

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 3 自然環境 ①」(47頁)
「第4章 5 にぎわい ⑤」(49頁)〕



プレイパークの整備イメージ

(8) レクリエーションエリア



【整備内容】

■ バーベキューやデイキャンプ等を楽しめる環境の整備

公園南側の広場と桜の広場は、バーベキューやデイキャンプ等を楽しめる場所とし、水場や屋根、荷下ろしのための車寄せスペースを整備します。また、利用ニーズを見極めながら、ドッグランなどを整備します。

■ 桜の広場の環境整備【詳細は 71 頁】

今後とも桜の名所として、多くの人に親しまれるよう、既存の桜の現況調査や樹勢回復、状況に応じた植樹を実施します。

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 3 自然環境 ①②」(47 頁)
「第4章 5 にぎわい ①」(49 頁)〕



(例) おど小戸公園(福岡市)の屋根付き水場施設

6 第Ⅲ期整備について

第Ⅲ期は、放射線影響研究所の移転後の敷地を活用し、平和・芸術文化ゾーンとして新たな施設の整備を行い、基本計画の総仕上げに取り組みます。

具体的には、基本計画の対象区域内で最も大きな面積を有する放射線影響研究所敷地を活用し、民間事業者や市民等を主体とした整備や管理・運営（民設民営）を視野に入れて、多目的エリアを整備します。

また、隣接する同研究所の職員宿舎を活用して飲食施設（レストラン）を整備し、これらの整備により、国籍や人種、宗教などの様々な違いを超え、幅広い人々の交流を生み出せる場とすることで、平和であるからこそ享受できる「都市に息づく文化・自然の豊かさ」を体験できる場をつくり上げます。

さらに、このレストラン周辺が、比治山公園で最も高い場所であることをいかして、「平和へのメッセージ」を記す碑を設置し、「都市に込められた平和への思い」を共有できる場とします。

なお、放射線影響研究所の敷地を活用した整備は、こうした整備内容に沿って進めることにしますが、同研究所の移転の段階で、広島市博物館基本構想（昭和 57 年度策定）及び広島市博物館基本計画（平成 3 年度策定）における位置付けとの整理を行うこととします。

〔平和・芸術文化ゾーン ー放射線影響研究所敷地ー〕

(1) 多目的エリア



【整備内容】

■ 屋外彫刻などの設置や芸術文化活動の実施

平和であることを実感しつつ、現代美術を始めとした芸術文化に親しむことができる場として、屋外彫刻や芸術性の高い遊具などを設置し、美術に触れながら、楽しさや感動を味わえる場とします。

また、ヒロシマをテーマとした芸術表現などの創作活動や国際交流イベントの開催も検討します。

■ にぎわいの創出

公園一の広さをいかした市民や観光客の交流の場(イベント広場)として、地産地消の飲食・物販に活用できる回廊状のパーゴラ(日陰用の棚)、音楽イベントや演劇等に利用できるステージ等を整備し、国籍や人種、宗教などの様々な違いを超え、多くの人々が集い交流し、平和であるからこそ楽しめる様々なイベント等を通じて、平和の大切さを多面的に実感できる場とします。

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 5 にぎわい ①③⑤」(49頁) 〕



多目的エリアの整備イメージ

(2) 飲食施設（レストラン）



【整備内容】

放射線影響研究所の職員宿舎である比治山ホールは、日本を代表する建築家の一人である前川國男氏により設計された魅力があり、夜景も楽しめる建物です。このため、結婚披露宴も開催できるような上質な空間を持ち、ホールからの眺望をいかせるレストランを整備（誘致）します。また、比治山ホールに隣接するFM放送所横の広場をレストランの庭園として整備します。

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 4 景観・眺望 ①」(48頁)
「第4章 5 にぎわい ①②」(49頁) 〕



飲食施設（レストラン）の整備イメージ

(3) 「平和へのメッセージ」を記す碑



【整備内容】

比治山公園で最も高い場所であることをいかして、レストランの庭園には、広島を訪れた世界の為政者や著名人が残した「平和へのメッセージ」を読むことができる碑を設置し、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並みを眺めながら、戦争と平和について考えることのできる場とします。【詳細は59頁】

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 1 平和・歴史 ①」(45頁)
「第4章 4 景観・眺望 ②」(48頁) 〕

(4) 遊戯施設



【整備内容】

放射線影響研究所移転後に、現在の遊具広場に比較的規模の大きな遊戯施設を整備するとともに、同研究所敷地にはテーマを持った遊戯施設を配置します。テーマは、例えばアート、スポーツ、自然、動物など周辺施設や環境になじむものが考えられます。



(例)モエレ沼公園(札幌市)のイサム・ノグチがデザインした遊戯施設



(例)南池袋公園(東京都)のウッドチップを敷き詰めた遊び場

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 5 にぎわい ⑥」(49頁)
「第4章 6 園内の回遊 ②」(50頁)〕

(5) ランニングコース



【整備内容】

ウォーキングやランニングを楽しめるよう、放射線影響研究所敷地に弾力性のある着色舗装、コースや距離を表示した案内板を整備し、公園全体を周回できるランニングコースを完成させます。



(例)大濠公園(福岡市)の弾性舗装を用いたランニングコース

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 6 園内の回遊 ③」(50頁)〕

7 公園の機能をより発揮させるための環境整備

前節までは、構想の実現に向け、コンセプトごとの整備施設等の内容について、概ねの完成時期に沿ってまとめました。本節では、公園の機能をより発揮させるための様々な環境整備について取りまとめます。

(1) 園内動線・交通アクセス

以下に示す方針に基づき、園内動線・交通アクセスを整えます。

【方針】

- 現在の第二駐車場の位置に展望庭園を整備することに合わせて、主要な三つの園路が交わる交差点（標高 28.1m[※]）、第三駐車場（標高 32.1m[※]）、比治山スカイウォーク乗降口（標高 39.3m[※]）及び現在の第二駐車場（標高 46.8m[※]）の四つの高さの異なる園地をつなぐエレベーターを整備し、園内動線の高低差の軽減を図ります。

そのほか、ムーアの広場についても、バリアフリー化が図られていないことから、対策を講じます。

※ 「第2章 3 地形 (1) 平坦地及び標高の整理」(22 頁)



エレベーター等の整備イメージ

- 第二駐車場(58 台)は展望庭園の整備に伴い廃止します(公園内駐車場台数合計 115 台⇒57 台)。廃止後は、比治山スカイウォークで接続する広島段原ショッピングセンターの駐車場(800 台)の利用促進を図ることとします。また、第一駐車場・第三駐車場の有料化も検討します。
- 比治山スカイウォークは、広島段原ショッピングセンターの駐車場と比治山公園をつなぐとともに、高低差を軽減できるアクセス手段として、高齢者や障害者、ベビーカーを利用する子育て世代等の利便性を確保していることから、今後も継続的に稼働できるよう、計画的に維持・補修を行います。
- 第二駐車場に接続する園路を自動車の進入を制限する歩行者専用の園路とし、自動車と歩行者の動線を原則分離することとします。さらに、こうした歩行者専用の園路を利用して、ランニングコースを設定します。【詳細は 60・66 頁】
- バーベキューやデイキャンプ等を楽しめる場所として整備する「桜の広場」には、荷下ろし用の車寄せを設けるとともに、陸軍墓地及び市営墓地周辺には小規模な駐車場を設けます。
- 利用者の増加に合わせて、ひろしま観光ループバス「めいぷる一ぷ」のルート延長や停留所の増設などを検討します。また、観光レンタサイクル「ぴーすくる」の利用促進に取り組みます。

再整備に向けた方向性の整理 「第4章 6 園内の回遊 ①②」(50 頁)

「第4章 7 駐車場・交通アクセス ①②」(51 頁)

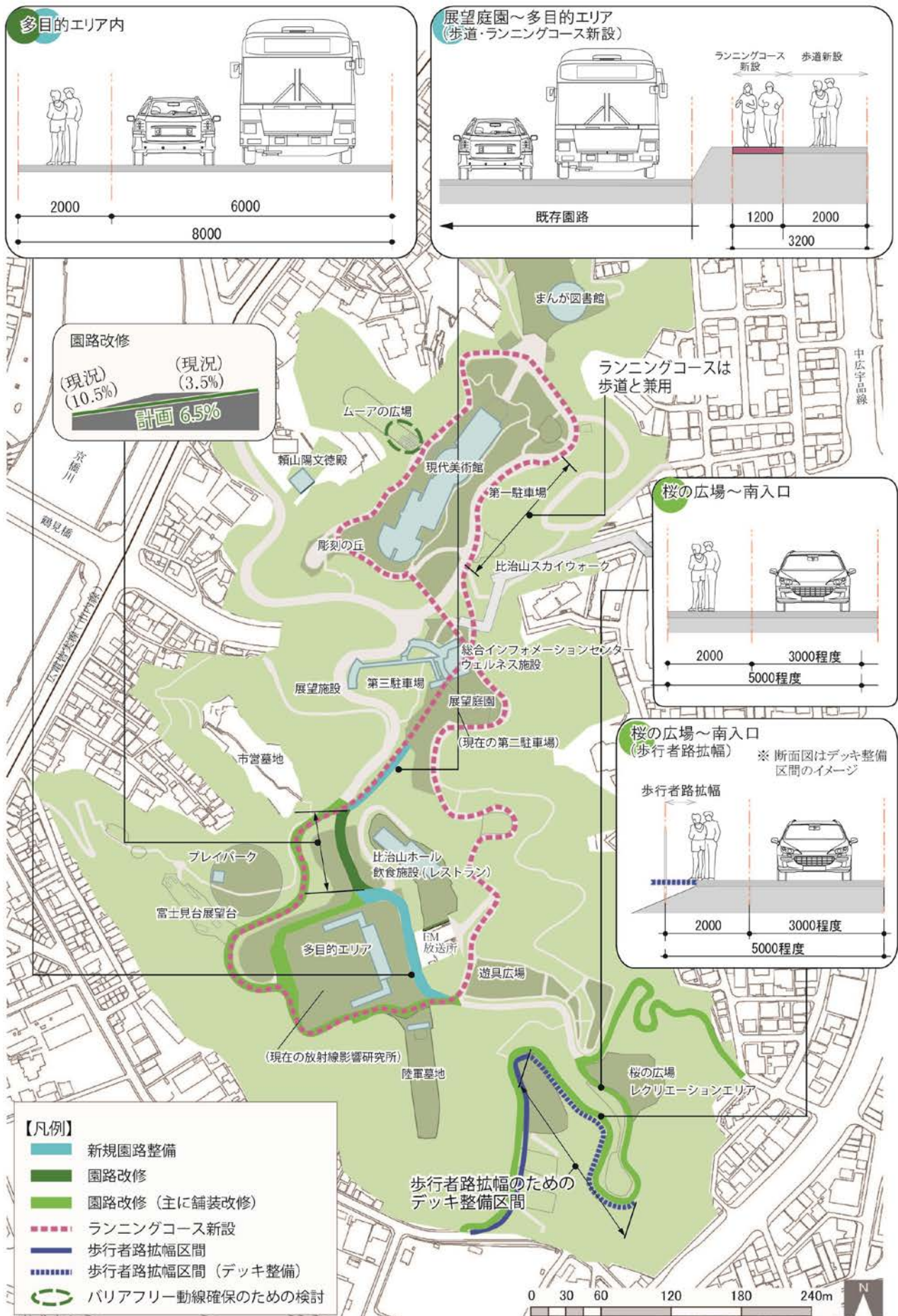
バリアフリー動線図



園内動線・交通アクセス図






園路改修計画図





(2) 眺望の確保、樹林管理及び植栽

以下に示す方針に基づき、眺望の確保、樹林管理及び植栽を行います。

【方針】

- 眺望が確保できていない視点場について、視界を妨げる樹木の間伐・剪定を行います(1 )。
- 園路沿いを中心に、防犯対策も含め気持ち良く散策できる明るい樹林環境に転換させるため、高密度に繁茂している幹の細い樹木を中心に間伐し、下草刈りを行います。さらに主要な園路沿いには、市民参加による林床植物[※]の植栽を検討します(2 )。
※ 林床植物： 太陽光の届きにくい場所に生育する耐陰性の強い植物のことで、春から夏にかけて花を咲かせるシヤガ、テイカカヅラ、ヤブラン、秋から冬にかけて実を付けるマンリョウ、ヤブコウジなどがあり、季節を通じて楽しむことができます。
- 今後とも桜の名所として、多くの人に親しまれるよう、以下のとおり既存の桜の樹勢回復、太陽光を好む桜の成長を阻害しないための明るい樹林環境の形成及び新たな桜の植樹を実施します(3 )。

	樹勢回復 (●)	明るい樹林環境 の形成 (樹木の間伐・剪定 及び下草刈り)	植樹
既存の桜があるエリア ()			
御便殿広場、ムーアの広場、富士見 台展望台、陸軍墓地、桜の広場	○ (必要に応じて)	—	○ (現地の状況に応じて)
尾根筋の園路沿い	○ (必要に応じて)	○	○ (現地の状況に応じて)
新たに桜を植樹するエリア()			
展望庭園	—	—	○
多目的エリア周辺	—	○	○

※ 公園内に点在する上記以外の桜についても、必要に応じて樹勢回復を行います。

- 間伐については、大きく成長した樹木は伐採しないなど、柔軟な対応を図ります。
- 比治山公園の樹林は都心における貴重な自然であることに加え、法面保護の観点からも、樹木の間伐は視点場及び園路沿いととどめます。

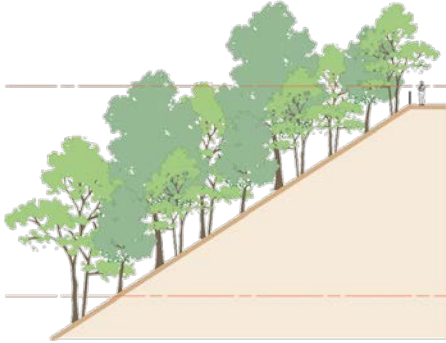
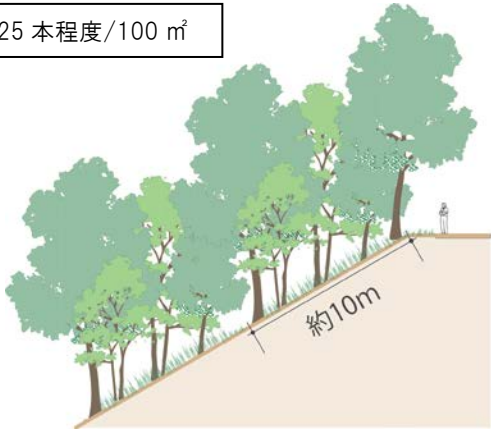
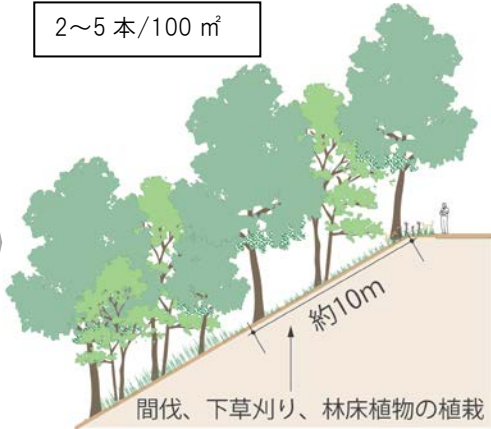
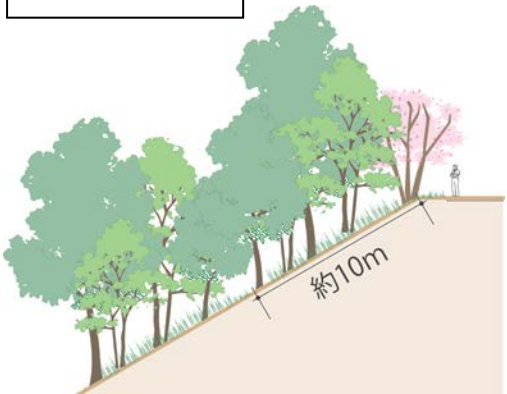
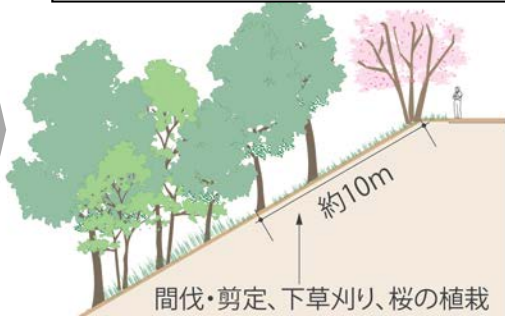
〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 3 自然環境 ②③④」(47頁)
「第4章 4 景観・眺望 ①③」(48頁)〕

眺望の確保、樹林管理及び植栽計画図



(既存の桜の位置は平成 21 年度に実施した「公園施設現況調査」の結果等による)

眺望の確保、樹林管理の方向性と植栽計画

目的	場所	管理の方向性
<p>1 眺望の確保</p>	<p>眺望が確保できていない視点場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視界を妨げる樹木を間伐・剪定します。 <p>【整備前】</p>  <p>【整備後】</p> <p>※ 間伐・剪定エリア ムーアの広場 (緩傾斜部): 約40m 富士見台展望台 (急傾斜部): 約20m 陸軍墓地: 約40m</p> <p>林高約10～20m ※ (約20～40m)</p>
<p>2 散策環境の向上・防犯対策</p>	<p>園路沿い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯対策も含め気持ち良く散策できる明るい樹林環境に転換するため、高密度に繁茂している幹の細い樹木を中心に間伐し、下草刈りを行います。 ・ 主要な園路沿いには、市民参加による林床植物の植栽を検討します。 <p>【整備前】</p> <p>25本程度/100㎡</p>  <p>【整備後】</p> <p>2～5本/100㎡</p> 
<p>3 桜の名所の継承</p>	<p>尾根筋の園路沿い・広場等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光を好む桜の成長を阻害しないよう、まずは樹木の間伐・剪定及び下草刈りを行い、特に明るい樹木環境を整えた上で、桜を植栽します。 <p>【整備前】</p> <p>25本程度/100㎡</p>  <p>【整備後】</p> <p>1～3本/100㎡</p> <p>※ 剪定により桜への太陽光が確保できる場合は、この限りではない</p> 

(3) 案内サイン

以下に示す方針に基づき、案内サインを設置します。

【方針】

- 施設や広場、園路、交通アクセス、記念碑・モニュメントを案内・紹介するサインを設置します。また、現代美術館やまんが図書館を始め、公園内で行われるイベントなどの紹介も行います。
- 案内サインは多言語表記とし、景観に配慮しつつ、公園全体として統一感のあるデザインとします。デザインの選定に当たっては、本市を代表する魅力的な拠点として比治山公園をブランド化できるデザイン性に優れたものとします。
- 既存の案内サインも含め再整備することとしますが、それぞれの老朽度を考慮し、個別に整備時期を検討します。

〔再整備に向けた方向性の整理「第4章 6 園内の回遊 ②④」(50頁)〕

案内サインの分類

種 類	内 容	配置の考え方	備 考
① 総合案内サイン	・園内の詳細な地図 ・イベント情報など	比治山公園「平和の丘」の中心であり、動線の要所となる展望庭園に設置	
② 園名・案内サイン	・公園名称 ・園内の簡単な地図など	主要な入口及び広場に設置	各入口の名称や名称のない広場については、新たに名称を決定することとします。 なお、決定に当たっては、名称を公募する等の方法も検討します。
③ 園名サイン	・公園名称	上記以外の入口に設置	
④ 誘導サイン	・施設、広場、園路及び入口などの方向、距離など	園路の分岐点に設置	
⑤ 解説サイン	・土地や建物の歴史、景色など	以下の場所に設置 ・御便殿広場 ・頼山陽文徳殿 ・陸軍墓地 ・放射線影響研究所敷地 ・比治山貝塚 ・ムーアの広場 ・富士見台展望台 など	
⑥ ランニングコース表示	・コースや距離など	ランニングコースの基点となる比治山スカイウォーク乗降口付近、コース上に設置	

案内サイン配置計画図



- 【凡例】
- ① 総合案内サイン
 - ② 園名・案内サイン
 - ③ 園名サイン
 - ④ 誘導サイン
 - ⑤ 解説サイン

(4) 照明

比治山公園の照明灯は、主要な園路や広場を中心に概ね全域に設置していますが、公園南側の一部には設置していない区域があります。このため、以下に示す方針に基づき、照明灯等を設置します。

【方針】

- 自動車の主動線、ランニングコース及び放射線影響研究所敷地において、照明灯を設置していない区域に照明灯を設置します。
- さらに、特徴的な建物である現代美術館は、ムーアの広場や平和大通りなどからの夜間の景観の向上を目指し、ライトアップを行います。
- なお、電線類については、現在は架空配線となっていますが、景観や安全性に配慮し、今後の園路整備等に併せて地中化を図ることも検討します。

再整備に向けた方向性の整理 「第4章 3 自然環境 ③」(47頁)
 「第4章 4 景観・眺望 ③」(48頁)

(参考)JIS 照度基準表

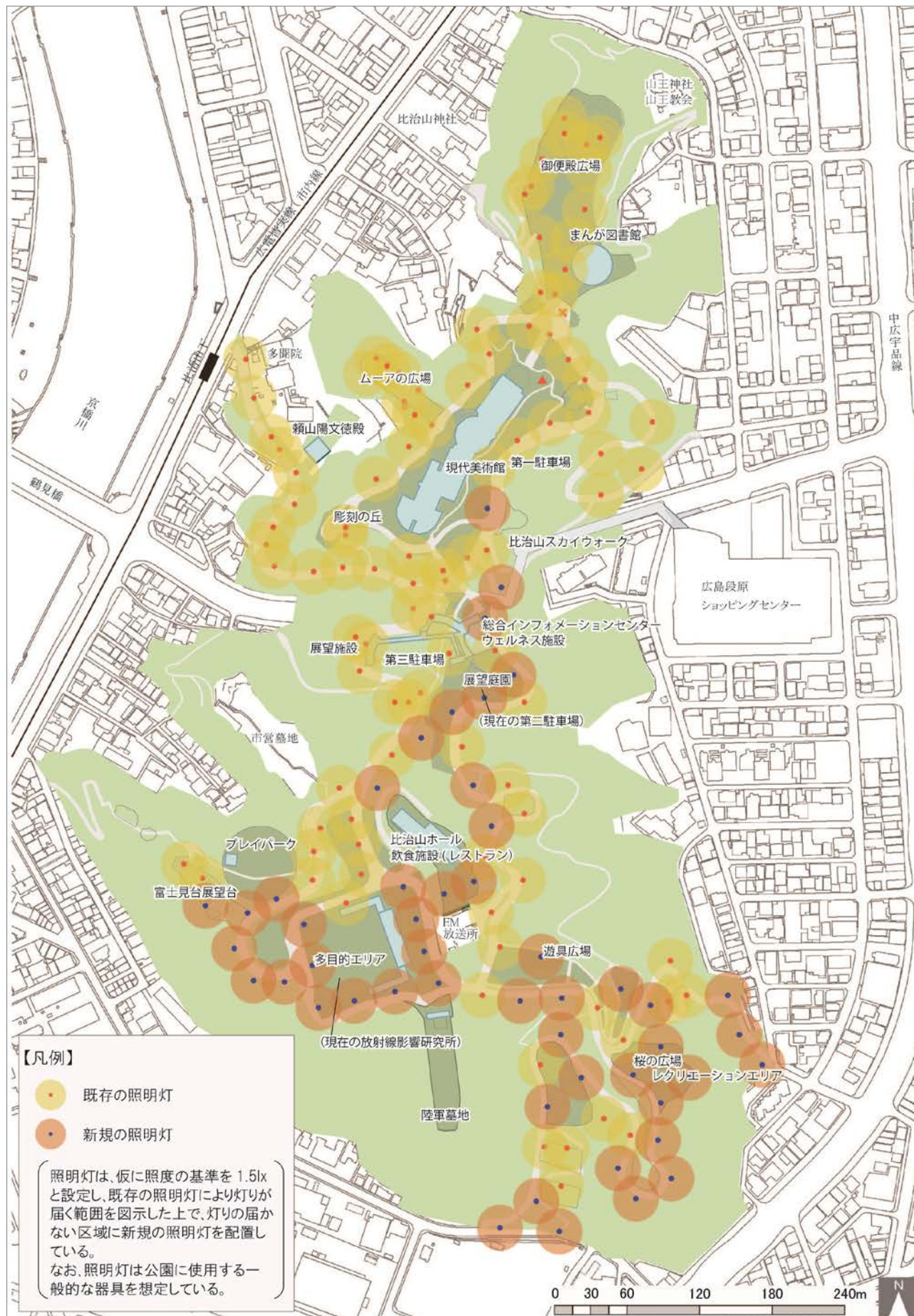
地面を照らす明るさの基準である照度(lx:ルクス)は、以下に示す JIS 照度基準表のとおり、公園の中でも「主な場所」と「その他の場所」により、1lx から 30lx まで基準に幅があります。

JIS 照度基準表

照度 (lx)	通路				交通関係広場	公園
	地上		地下			
1000						
750						
500	アーケード 商店街 (繁華)			商店街 (繁華)		
300						
200		アーケード 商店街 (一般)		商店街 (一般)	連絡通路 (交通量大)	
150						
100					連絡通路 (一般)	
75		商店街 (繁華)				
50						
30			商店街 (一般)		駅前広場 空港広場 (交通量大)	
20				市街地		
10					駅前広場 (一般)	主な場所
5						
2				住宅地		その他の場所
1						

- 備考
1. 本表は、主として歩行者のための公共施設について規定したものである。
 2. 地下街の各構えに接する地下道における非常用照明設備は、床面で 10lx 以上の照度を確保すること。
 3. 主として自動車交通を対象とした照明については、下記の基準による。
 - 自動車交通の用に供する道路は、JIS Z 9111 (道路照明基準)。
 - 自動車交通の用に供するトンネルは、JIS Z 9116 (トンネル照明基準)。
 - 歩道橋は、JIS Z 9114 (道路照明基準)。
 4. 道路には階段を含む

照明計画図



(5) 飲食サービス・にぎわい

以下に示す方針に基づき、飲食サービスの提供及びにぎわいの促進を図ります。

【方針】

- 御便殿広場や遊具広場等について、移動販売車も含め軽飲食できる場所を設定します。
- また、現代美術館内にある軽飲食店以外の売店・軽飲食店は、ほとんど営業しておらず、自動販売機による飲み物の販売にとどまっている上、昭和 20 年代から昭和 40 年代に設置されたもので、建物の老朽化が進み、防犯・防災及び景観上、好ましくない状況にあることから、除却する方針とします。
- 御便殿広場や多目的エリア等において、年間を通じて様々なイベントや活動が行われるよう、フリーマーケットやマルシェなどの物販、飲食店の出店を含むイベントの開催について、比治山公園独自の公園使用許可基準を設定するなど、市として必要な措置を検討します。

〔再整備に向けた方向性の整理「第4章 5 にぎわい ①⑤」(49頁)〕

東京都では、都が管理する 17 の公園において、使用許可基準を緩和することで、商業ベースのイベントの開催を可能としており、民間事業者を主体とした魅力的なイベントによるにぎわいが生まれています。

また、広島市においても、旧市民球場跡地を含む中央公園では、イベント開催に関する公園使用の許可基準を見直すことで、民間事業者が主催する様々なイベントによるにぎわいが生まれています。



写真:旧市民球場跡地でのイベントの様子

(6) 総合インフォメーションセンター

比治山公園には、公園内の巡視や通行車両の誘導、公園利用者への対応等を行う警備員が常駐する管理事務所がありますが、昭和 45 年に設置されたもので、建物の老朽化が進んでいます。

また基本計画においては、南北に広がる比治山公園の中心に位置する現在の第二駐車場周辺を比治山公園「平和の丘」の中心と位置付けた上で、新たに展望庭園を整備することとしています。

こうしたことから、管理事務所は、展望庭園に隣接する比治山スカイウォーク乗降口周辺に移設し、園内の総合インフォメーション機能を持たせることとします。

8 施設整備に向けた留意事項

比治山芸術公園基本計画及び基本設計に基づき整備した、現代美術館やまんが図書館といった建物や、ベンチや照明灯等の施設は、統一感のある空間となるよう、一定の基準に沿ってデザインされています。

本計画に基づく整備に当たっては、こうした既存施設と調和し、公園全体として統一感のあるデザインになるよう配慮します。



写真:比治山公園内にあるベンチや照明灯等の施設

また、比治山公園及びまんが図書館は、切迫した災害の危険から緊急的に逃れるための指定緊急避難場所に指定されており、整備に当たっては、被災時の避難場所としての機能を阻害しないよう配慮します。

第6章 整備・管理・運営について

比治山公園をより多くの人々が訪れる魅力的な公園とするため、基本計画に基づく整備は、民間事業者や市民等の多様な方々から意見をお聴きし、連携しながら、それぞれの得意分野をいかし取組を進めていきます。

この基本計画の実現に当たっては、三つの期間に分けた上で整備を進めることとしており、その中で、民間事業者や市民等の多様な主体と連携して具体的に取組を進める時期は平成 31 年度からの第Ⅱ期からとなります。

例えば、第5章で整理した整備施設のうち、多目的エリアや飲食施設(レストラン)、レクリエーションエリア、ウェルネス施設等の収益が見込める施設については、民間事業者を主体とした整備や管理・運営が考えられます。また、プレイパークについては、知識や経験を有する市民活動団体が管理・運営している事例も多く、市民活動団体を主体とした管理・運営が考えられます。

さらに、公園におけるイベントの開催、公園内の楽しみ方に関する情報提供といった利用者へのサービスなども、公園の利用者自らが連携して企画・立案し、実施することによって、数多くのイベントの開催、新しい魅力的な楽しみ方の発見・情報発信が期待できます。

実際に現在の比治山公園では、平成 28 年 3 月に段原地区町づくり協議会が開催した「第 1 回比治山桜咲けまつり」や、平成 28 年 10 月、11 月に広島段原ショッピングセンターが比治山公園ワークショップの参加者等と連携して開催した「はじめまして、比治山祭」といった、民間事業者や市民等の多様な主体による自発的な活動が始まっています。

こうしたことから、第Ⅱ期からの施設整備等を円滑にスタートさせるため、第Ⅰ期において、パークマネジメント[※]の視点に立ち、様々な手法の中から比治山公園に最も適した整備や管理・運営手法について、幅広く検討していくこととします。

なお、平成 28 年度に国が創設した「地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)」を活用し、民間事業者の協力を得ることについても検討します。

※ パークマネジメント：行政を中心とした手法を見直し、民間事業者や市民等と連携し、それぞれの得意分野をいかしつつ、公園の整備や管理・運営を行うこと

(参考)都市公園に関する整備・管理・運営を取り巻く潮流

国土交通省では、平成 26 年度に、「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会」を設置し、都市公園を活用したまちづくりの方向性等について検討を行い、平成 28 年 5 月に最終とりまとめ^{※1}を公表しました。とりまとめの中で、PFI や指定管理者制度の活用等により、民間事業者や市民等と連携した整備や管理・運営を一層加速させることが求められています。

既に東京都や名古屋市では、こうした様々な主体と連携した取組の推進を公園の整備や管理・運営についてまとめた計画^{※2}に盛り込み、積極的に取り組んでいます。また、大阪市では、設計・整備から管理・運営までを一括して民間事業者に委ねた天王寺公園(エントランスエリア)を平成 27 年 10 月にリニューアルオープンさせ、兵庫県では、有馬富士公園において、県民参加の運営・計画協議会の下、様々な市民活動団体が公園利用者を楽しませる「夢プログラム」を年間 700 回以上実施^{※3}するなど、全国で様々なパークマネジメントの取組が広がっています。

※1 「新たなステージに向けた緑とオープンスペース政策の展開について(新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会最終とりまとめ)」(国土交通省、平成 28 年 5 月)

※2 「パークマネジメントマスタープラン」(東京都、平成 27 年 3 月)、「名古屋市公園経営事業展開プラン」(名古屋市、平成 25 年 7 月)

※3 山崎亮著「コミュニティデザイン 人がつながるしくみをつくる」(榊学芸出版社(平成 23 年 5 月))

参 考〔法規制の整理〕

1 都市計画法

比治山公園は、明治36年に本市で最初の公園として開設された後、昭和27年に都市計画法上の公園として位置付けられました。その概要は以下のとおりです。また、同法に基づく土地利用に関する指定は以下のとおりです。

都市施設に関する指定

名 称	比治山公園
種 別	総合公園
面 積	約 29.8ha

土地利用に関する指定

項 目	内 容
都市計画	都市計画区域
区域区分	市街化区域
地域地区	用途地域(第二種住居地域(容積率:200%、建ぺい率:60%))
	準防火地域

2 都市公園法

比治山公園は、昭和39年に都市公園法上の公園として位置付けられており、同法施行令における「主として一の市町村の区域内に居住する者の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする都市公園」に該当します。

また、公園内に公園施設として設けられる建築物については、都市公園法第4条、同法施行令第6条及び広島市公園条例第3条の2において、その許容面積が次のとおり定められています。

許容建築面積と新設する施設の建築面積との試算値

公園施設ごとの公園の敷地面積に対する建築面積の割合	許容建築面積 (A)	(参考)			
		現行施設の建築面積 (B)	新設する施設の建築面積 (C)	整備の可否 (A)>(B)+(C)	
建築基準法第二条第一項に規定する建築物(便所、売店・軽飲食店、管理事務所など)	2%	(公園開設面積) 269,338.19 m ² ×2% 5,386 m ²	便所 売店・軽飲食店 管理事務所 ほか 約 600 m ²	管理事務所 ウェルネス施設 など 約 1,000 m ²	○
特 例 が 認 め ら れ る 施 設	10%	(公園開設面積) 269,338.19 m ² ×10% 26,933 m ²	まんが図書館 現代美術館 付属施設 約 5,000 m ²	—	○
	10%	(公園開設面積) 269,338.19 m ² ×10% 26,933 m ²	—	ステージ 回廊式パーゴラ 屋根スペース 約 1,000 m ²	○

3 景観法

景観法に基づき、平成26年7月に策定した広島市景観計画において、比治山公園は、一般区域に位置付けられており、ムーアの広場等を含む西側の地区は、景観計画重点地区の一つであるリバーフロント・シーフロント地区(リバーフロント地区)に位置付けられています。

なお、景観計画区域(広島市全域)において一定規模以上の建築物の建築等(届出対象行為)を行う場合については、景観計画に定める景観形成の方針や形態意匠の基準(行為の制限)に適合する必要があります。

景観法に基づく届出対象行為

地区区分	建築物の建築等	工作物(限定列举)の建設等		
		①工作物 1	②工作物 2	③工作物 3
		煙突、電波塔、ガスタンクなど	携帯電話等基地局アンテナ、時間貸し駐車場、自動販売機など	橋りょう
景観計画重点地区	以下のいずれかに当たるもの ○ 高さ13mを超えるもの ○ 幅員が10mを超える道路に係る沿道の角地では、高さ7mを超えるもの ○ 主要な河川又は港湾に面する部分では、高さ7mを超えるもの ○ 建築(築造)面積1,000㎡を超えるもの		種類ごとに規模等限定	地区内の主要な河川に架かるもの等
リバーフロント・シーフロント地区				—
一般区域 (景観計画重点地区以外)			—	—

景観計画重点地区におけるリバーフロント・シーフロント地区

